



平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月30日

上場会社名 株式会社UMNファーマ 上場取引所 東
 コード番号 4585 URL <http://www.umnpharma.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)平野 達義
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)橋本 裕之 (TEL)045(263)9200
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	42	△40.0	△485	—	△461	—	△457	—
26年12月期第1四半期	70	189.0	△1,111	—	△1,195	—	△904	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △457百万円(—%) 26年12月期第1四半期 △949百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△47.86	—
26年12月期第1四半期	△107.14	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	13,077	3,259	24.9
26年12月期	12,882	3,705	28.8

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 3,259百万円 26年12月期 3,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,224	371.3	△878	—	△1,025	—	△1,033	—	△108.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期1Q	9,571,500株	26年12月期	9,556,500株
27年12月期1Q	50株	26年12月期	50株
27年12月期1Q	9,566,450株	26年12月期1Q	8,438,405株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。

また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融政策や経済政策の効果を背景に、金融収益の改善により景気が緩やかに回復しつつあり、個人消費も底堅く推移いたしました。一方で、新興国の経済成長鈍化懸念、欧州債務問題の長期化等、先行きは不透明な状況にあります。

わが国医薬品業界においては、医療費抑制策により医療用医薬品市場の伸びが鈍化しており、グローバル医薬品開発による世界市場での展開が一層重要になっております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、「UMN-0502」(組換えインフルエンザHAワクチン(多価)、以下、「UMN-0502」といいます。)、 「UMN-0501」(組換えインフルエンザHAワクチン(H5N1)、以下、「UMN-0501」といいます。)、世界保健機関(World Health Organization:WHO)がH5N1とともにパンデミック発生の可能性を指摘しているH9N2亜型に対する「UMN-0901」(組換えインフルエンザHAワクチン(H9N2)、以下、「UMN-0901」といいます。)、ウイルス性胃腸炎の主な原因ウイルスであるノロウイルス及びロタウイルスに対する「UMN-2003」(組換えノロウイルスVLP+組換えロタウイルスVP6混合ワクチン)及びノロウイルスに対する「UMN-2002」(組換えノロウイルスVLP単独ワクチン、以下、「UMN-2002」といいます。))の開発に経営資源を重点的に配分し研究開発を進めてまいりました。なお、上記開発パイプラインのうち、国内においては、UMN-0502及びUMN-0501に関しアステラス製薬株式会社と提携し開発を進めており、韓国においては、UMN-0502、UMN-0501及びUMN-0901に関し日東製薬株式会社と提携し開発を進めております。

UMN-0502については、平成26年5月にアステラス製薬株式会社がインフルエンザの予防の効能・効果で、厚生労働省に製造販売承認申請を行っており、当第1四半期連結累計期間においては、当該審査に対する各種照会事項への対応を行っております。また、審査と並行して、当社連結子会社である株式会社UNIGEN岐阜工場(以下、「岐阜工場」といいます。))にて、商用生産開始に向けた準備を実施しております。

UMN-2002については、平成26年2月に第一三共株式会社と締結した共同研究契約に従い、同社にて基礎検討が継続して行われております。

バイオ医薬品受託製造(Biopharmaceutical Contract Manufacturing Organization)事業においては、国立感染症研究所より受託し製造しておりました複数の新規ワクチン候補抗原を納入しました。またその他企業より、複数の新規案件を受託し業務を推進しております。加えて、平成26年12月に、当社技術導入元である米国Protein Sciences Corporation(以下、「PSC」といいます。))及び株式会社IHIと締結した、PSCが米国で販売している季節性組換えインフルエンザHAワクチンFlublok®の原薬を岐阜工場より供給することの可能性検討に関する基本合意に基づき、Flublok®原薬製造工程のギャップ分析等の検討作業を進めております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、42,168千円(前年同期は70,317千円)となりました。一方、UMN-0502審査対応、提携先と各開発パイプラインの研究開発、岐阜工場における商用生産準備を積極的に進めたことにより、営業損失は485,980千円(前年同期は1,111,539千円の営業損失)、経常損失は461,436千円(前年同期は1,195,610千円の経常損失)、四半期純損失は457,860千円(前年同期は904,086千円の四半期純損失)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間において、当社連結子会社である株式会社UNIGENが岐阜工場に係る奨励金を收受したことにより助成金収入76,263千円を営業外収益に計上しております。また、法人実効税率の引下げを受け繰延税金負債の一時差異を解消したことにより△5,192千円を法人税等調整額に計上しております。

なお、当社グループは医療用医薬品の研究開発及びこれに関連する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績に関する記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は13,077,278千円(前連結会計年度末比195,227千円の増加)となりました。

流動資産については、3,766,050千円(同569,006千円の増加)となりました。これは主に、原材料の増加450,280千円及び仕掛品の増加438,772千円によるものであります。

固定資産については、9,311,228千円(同373,778千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の減少354,720千円によるものであります。

負債については、9,817,730千円(同641,088千円の増加)となりました。これは主に、流動負債の短期借入金の増加700,000千円によるものであります。

純資産については、3,259,548千円(同445,860千円の減少)となりました。これは主に、四半期純損失457,860千円を計上したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ188,133千円減少し、1,892,087千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失461,436千円、減価償却費378,089千円、たな卸資産の増加額889,052千円、仕入債務の増加額491,392千円等により、848,714千円の支出(前年同期は2,073,493千円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,400千円等を計上したことにより、1,637千円の支出(前年同期は26千円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入700,000千円、長期借入金の返済による支出25,000千円、リース債務の返済による支出24,740千円等を計上したことにより、662,217千円の収入(前年同期は5,060,461千円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の連結業績予想につきましては、「平成26年12月期 決算短信」(平成27年2月13日付)で公表した数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,080,221	1,892,087
売掛金	14,502	14,194
仕掛品	338,602	777,374
原材料及び貯蔵品	348,261	798,541
前渡金	88,712	72,909
その他	326,745	210,943
流動資産合計	3,197,044	3,766,050
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,120,982	5,013,806
機械及び装置(純額)	3,410,677	3,196,896
工具、器具及び備品(純額)	104,783	97,801
リース資産(純額)	533,355	506,574
建設仮勘定	1,050	1,050
有形固定資産合計	9,170,849	8,816,129
無形固定資産	245,703	226,849
投資その他の資産	268,453	268,248
固定資産合計	9,685,006	9,311,228
資産合計	12,882,050	13,077,278
負債の部		
流動負債		
買掛金	—	491,392
短期借入金	600,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	336,000	597,000
未払金	607,462	223,297
未払法人税等	30,567	11,930
その他	224,680	141,284
流動負債合計	1,798,710	2,764,904
固定負債		
長期借入金	6,329,000	6,043,000
長期預り金	340,332	340,332
資産除去債務	171,248	165,052
その他	537,350	504,440
固定負債合計	7,377,931	7,052,825
負債合計	9,176,642	9,817,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,688,544	8,694,544
資本剰余金	8,357,544	8,363,544
利益剰余金	△13,340,482	△13,798,343
自己株式	△197	△197
株主資本合計	3,705,408	3,259,548
純資産合計	3,705,408	3,259,548
負債純資産合計	12,882,050	13,077,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	70,317	42,168
売上原価	4,325	11,131
売上総利益	65,992	31,036
販売費及び一般管理費	1,177,531	517,016
営業損失(△)	△1,111,539	△485,980
営業外収益		
受取利息	248	174
為替差益	—	1,232
助成金収入	—	76,263
その他	167	477
営業外収益合計	415	78,148
営業外費用		
支払利息	57,990	34,226
株式交付費	64	42
為替差損	1,870	—
支払手数料	24,560	19,335
営業外費用合計	84,486	53,604
経常損失(△)	△1,195,610	△461,436
特別利益		
補助金収入	2,213,799	—
特別利益合計	2,213,799	—
特別損失		
固定資産圧縮損	1,966,398	—
特別損失合計	1,966,398	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△948,209	△461,436
法人税、住民税及び事業税	1,598	1,617
法人税等調整額	△759	△5,192
法人税等合計	839	△3,575
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△949,048	△457,860
少数株主損失(△)	△44,962	—
四半期純損失(△)	△904,086	△457,860

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△949,048	△457,860
四半期包括利益	△949,048	△457,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△904,086	△457,860
少数株主に係る四半期包括利益	△44,962	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△948,209	△461,436
減価償却費	467,811	378,089
受取利息	△248	△174
支払利息	57,990	34,226
支払手数料	24,560	19,335
株式交付費	64	42
固定資産圧縮損	1,966,398	—
補助金収入	△2,213,799	△76,263
売上債権の増減額(△は増加)	△5,999	308
たな卸資産の増減額(△は増加)	△55,839	△889,052
仕入債務の増減額(△は減少)	—	491,392
預り金の増減額(△は減少)	△5,007	△3,906
その他	669,991	△353,738
小計	△42,287	△861,178
利息の受取額	321	174
利息の支払額	△55,747	△33,183
補助金の受取額	2,216,799	76,263
法人税等の支払額	△6,066	△6,376
その他	△39,527	△24,414
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,073,493	△848,714
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△310	△1,400
無形固定資産の取得による支出	—	△216
敷金の差入による支出	—	△78
敷金の回収による収入	336	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	26	△1,637
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,700,000	700,000
短期借入金の返済による支出	△1,884,300	—
長期借入金の返済による支出	△4,870,000	△25,000
リース債務の返済による支出	△23,046	△24,740
株式の発行による収入	16,885	11,958
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,060,461	662,217
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,986,942	△188,133
現金及び現金同等物の期首残高	4,267,657	2,080,221
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,280,715	1,892,087

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年3月31日)

当社グループは、医療用医薬品の研究開発及びこれに関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。